

2025

～縄文から宇宙まで～

3 創造館だより

monthly report vol.165



ハノイの娘 失われゆくものの記憶のために

特別展「柘植伊佐夫展:記憶の人々」
令和7年3月29日(土)

6月30日(月)

※途中展示替えあり

伊那市創造館1階 特別展示室
午前10時～午後5時 入場無料

柘植伊佐夫
Tsuge Isao
人物デザイナー



1960年生まれ。滝田洋二郎監督「おくりびと」など多くの映像作品のビューティディレクションを担当。08年以降、作品のキャラクター像をトータルで創造する「人物デザイン」を開拓。現在、衣装・ヘアメイク・持ち道具を統括し、人物デザイナーとして扮装を総合的に表現している。

主な映像作品に、NHK作品から『龍馬伝』『平清盛』『どうする家康』(大河ドラマ)、『精霊の守り人』(大河ファンタジー)、『ストレンジャー～上海の芥川龍之介～』(8Kスペシャルドラマ)、『岸边露伴は動かない』(ドラマ)。映画は『メルド』(レオス・カラックス監督)、『拘束のドロイング9』(マシュー・バーニー監督)、『十三人の刺客』(三池崇史監督)、『翔んで埼玉』『翔んで埼玉 琵琶湖より愛をこめて』『はたらく細胞』(武内英樹監督)、『シン・ゴジラ』(庵野秀明総監督・樋口真嗣監督)、『シン・仮面ライダー』(庵野秀明監督)、『岸边露伴 ルーヴルへ行く』(渡辺一貴監督)など。舞台作品は、『六本木歌舞伎座 座頭市』(三池崇史演出)、『赤鬼』『MIWA』『Q:A Night At The Kabuki』(野田秀樹演出)、『あかいくらやみ～天狗党幻譚～』『王将』『常陸坊海尊』(長塚圭史演出)、『PLUTO』『舞台・エヴァンゲリオン ビヨンド』(シディ・ラルビ・シェルカウイ演出)などがある。著書は『龍馬デザイン。』(幻冬舎)、『さよならヴァニティー』(講談社)。人物デザインの傍で、絵画制作を行う。

柘植伊佐夫展： 記憶の人々 ISAO TSUGE exhibition: PEOPLE OF MEMORY



デッサン

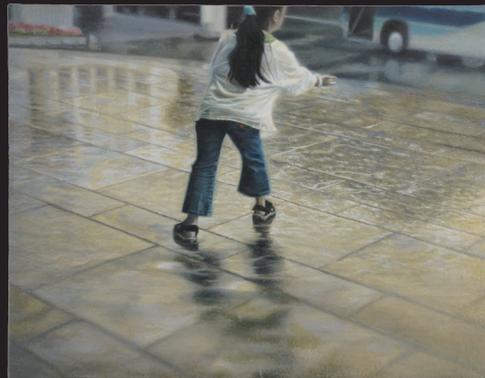
記憶の人々

わたくしは多くの人々に出会い、多くの映画や舞台のなかに登場する人物を創造する仕事を、長く勤めさせていただいています。はじめに就いた仕事は美容師ですが、ご縁あってヘアメイクとなり、その後に先輩や仲間を引き立てられて、「人の姿そのもの」を生み出す仕事に変わっていきました。

これまで進んでまいりました道は、偶然に後押しされて開かれた機会がほとんどでありましたから、特に強く目的を目指してきたのでもなく、流されてこまごまで来たのではないかと反省することもあります。そのような地に足がしっかりしていない私ですが、いつも心に現れてくる画像があり、それだけが自分にとって確かなことだったのかもしれない。

そのような「心の画像」をはっきりとさせようと、絵筆をとってタブローに向かう時がありました。それらの多くは人であったり、何かのイメージでした。私に絵を教えてくれたのは亡き父でした。息子とは父親に抗う気持ちを抱くもので、私もその例外ではありませんでしたが、絵画について手を取ってくれたことを今も感謝しています。つまり父が、私にとって「記憶の人々」の始まりであることは間違いがなく、今回の展示はその記憶を辿る私的な旅でもあります。

柘植伊佐夫



雨



- 電車利用…… JR飯田線伊那市駅より徒歩4分
- バス利用…… 伊那バスターミナルより徒歩3分
- 自動車利用…… 中央道伊那インターより15分
…… 中央道小黒川スマートインターより10分

※お車でお越しの方へ
いなっせ駐車場など、市営駐車場をご利用の上、駐車券を創造館1階事務室までお持ちください。無料化いたします。

※ホームページは…
「伊那市公式」を検索 → www.inacity.jp

→ [伊那市の博物館・美術館・図書館](#) → [伊那市創造館](#)